

シートベルトはあなたの命綱

全席シートベルト着用



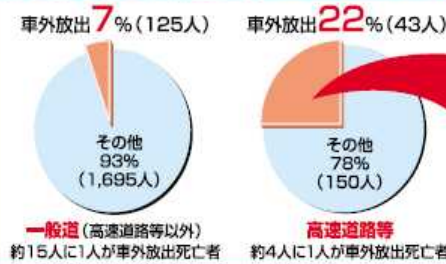
車外放出防止のために全席、全員シートベルト

高速走行で衝突した場合、シートベルトをしていないと体が車内で投げ出され、開いたドア、割れた窓ガラス部分、場合によっては前や後の窓ガラスを突き破って、車外へ放出されることがあります。

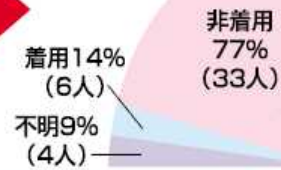
車外放出されると、路面への落下時の衝撃や後続車にはねられるなどによって、死亡に至るケースもあります。

● 高速道路等での死者の約4人に1人は車外放出

自動車乗車中の車外放出死者数(平成19年・警察庁資料による)



車外放出死者の約8割がシートベルト非着用



後部座席もシートベルトを着用しましょう

交通事故の衝撃力は、速度と重量に応じて大きくなります。たとえば、時速100kmでコンクリートの壁に衝突した場合は、約39mの高さ(ビルの12階程度)から落ちた場合と同じ程度の衝撃を受けます。

シートベルトを着用しないと、後部座席の乗員は前席の座席シートや天井に叩きつけられます。さらに、前方に激しく叩きつけられ自らが負傷するだけでなく、前席のシートバックを押し倒すことで前席の乗員がたとえシートベルトを着用していても作動したエアバッグと座席シートに強く挟まれる危険性があります。

● JAFユーザーテスト〔後席シートベルトの必要性を検証する前面衝突(時速約60km)〕



後席シートベルト着用



後席シートベルト非着用



後席シートベルト着用

車内



後席シートベルト非着用

車内

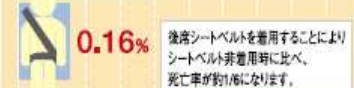
後席はシートベルト着用で安全性6倍!

高速道路における後席同乗者のシートベルト着用死亡率
死亡率=死者数÷(死者数+重傷者数+軽傷者数)×100(%)

シートベルト非着用



シートベルト着用



後席シートベルトを着用することによりシートベルト非着用時に比べ、死亡率が約6倍になります。

0 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0
死亡率(%) (平成19年 警察庁資料による)

シートベルトを締めていない後席のダミー(人形)は、前席や天井に大きく投げ出され、全身を強打! シートベルトを締めていた前席のダミーとも衝突! この時ダミーは

体重の約30倍の力

で激突しました!

子供を抱っこした状態で走るのはやめましょう。

子供の命を守るのは大人の責任です。6歳未満のお子さんを乗車させる場合には、必ずチャイルドシートを正しく取り付け、着用させましょう。

